

鈴鹿市民の コミバスをよくする会ニュース

(第10号・2013.10.2発行)

発行:(略称)コミバスをよくする会
事務局(仮):辻井良和 方
〒510-0234 鈴鹿市江島本町31-36
電話 059-386-0529 FAX 059-386-0646

各地の市民と交流

27回日本高齢者大会で

鈴鹿市民のコミバスをよくする会では、9月12日・13日に津市で行われた「第27回日本高齢者大会」に参加することを決めていました。

全国から2日間で5,300人が集まった参加者と一緒に、第5分科会(65人参加)「元気バスで、安心、元気で長生き…玉城町の経験」に参加しました。

この分科会では、鈴鹿コミバスの会・辻井代表が司会者を担当し、橋詰事務局長が映像の管理と記録係を担当しました。



第5分科会で元気バスについて話す、玉城町総務課長・林裕紀さん

東大で開発したオンデマンドプログラムの特徴とその全国での運用について詳しく話し、中小の都市や集落に適していること、玉城町はこのシステムに高齢者の健康管理を結びつけて成功していることを話してくれました。年内には約30の地域で導入されるそうです。

この後、伊勢市のおかけバス(有料)関係者の発言や、碧南市のくるくるバス(無料)、津市のぐるっと津バス(有料)などの運用の実態が報告され、大阪からは、大阪市営の公共交通(黒字経営)が民間会社に売り払われようとしていることなどが報告されました。

愛知県や埼玉県など各地の運動グループの発言も沢山あり、最後に司会者から討論のまとめに入り、次のような点をまとめました。

- ①玉城町の元気バスと住民を守る福祉施策の結合は素晴らしい。東大デマンドシステムはモデルになる。
- ②無料か有料かは、誰のためのものか。生活交通・福祉バスとして無料を選択すべきだろう。
- ③実現の道は、住民の要求運動と首長の決断。
- ④この声を全国に運び、種をまこう。

玉城町の元気バスはいいね 中小の街では高齢者にやさしい

初めに三重県玉城町総務課長の林裕紀さんが、玉城町で実施しているオンデマンド方式の「元気バス(無料)」について、最初のマイクロバスによる「空気バス」という悪評を解決しようと、東大大学院のデマンド方式に出会い、路線バスを廃止して停留所を3倍ほどに増やして実施し、インターネット回線を使ったデマンド方式(乗りたい人の予約に応じて配車し、数人が乗り合わせ、それぞれ目的地に約束通りの時間に届ける)に変更し、利用者数を大幅に増やし、高齢者の外出支援と保健衛生の向上に大いに役立てている実態を報告しました。

その後、東京大学大学院研究所の本多健さんが、

★子供を産み育てる年齢の人が、不況の中で非正規労働者など経済的なゆとりが無くなり、結婚すら少なくなりました。

★高齢者の運動も、自分の事だけではなく、若者の仕事に関心を持って、若者が喜んで働けるようなキッチンとした賃金と、精神的にもゆとりのある労働条件を守ってやらないものです。

9月18日の敬老の日、厚生労働省が、65歳以上の高齢者人口が全体の4分の1(25%)を超えたと発表しました。

★長生き長寿は人類の成果ですが、あまり比率が高いと心配になります。比率が高いのは、第2次世界大戦(太平洋戦争)後のベビーブームで生まれた世代が65年を超えていることと、最近40年間に子どもの出生率が年々減少していることが重なったからです。

夢のような 玉城町のバス



第27回日本高齢者大会には、2日間参加させてもらいました。日常生活で路線バスを利用する一人としてその不便さに懲りている私は、自然にその方面の分科会を希望しました。

「コミバスを考える会」にしましても、バスをどう走らせるか、どの路線を選ぶか…そういったことしか頭になかった私は、三重県玉城町のあり方を聞いてびっくりしました。

かなり具体的な分かりやすい話ですから夢のような、と言っても大袈裟ではありません。人が何人か集まって知恵を絞ると一個人が思いもしなかった成果が生み出される事に感動します。

これからバス利用者はバス停まで歩いて行って待つのではなく、バスの方から利用者の方へ行って、希望の行き先へ行く。玉城町ではすでにそれが実施されているそうです。

ある意味においてはタクシーのようなものを想像しますが根本的に大きく異なります。玉城町のバスのあり方は今後の自治体に大きな影響を与えずにはおかないでしょう。

最後に司会の方がおしゃった「これを実現する力は、みんなの運動と首長の決断です」という言葉が頭の中に残っています。(伍島たづ子)

あなたの回りで生活交通を考える 地域懇談会を開催しませんか

生活交通を考える地域懇談会では、玉城町「元気バス」のDVD(11分)を観て「会」の考えている思いをお伝えしたあと、参加者の皆さんの率直なご意見をお聞きしする場として、全体で60分程度を予定しています。

自治会や老人会の役員の方々と相談して計画していただいても、あなたの知人2~3人でお集まりいただいても、どんな形でもけっこうですので、地域懇談会をやってみようと思う方は、世話人までご連絡ください。

「私の街にもコミバスを走らせて」の声を広げ、会員を増やし、みんなの願いを実現させましょう。

私の夢がかなう コミバス



先日、公会所にてコミバスの今後についての会合に、出席させていただきました。皆様の温かいお心を嬉しく感謝申し上げます。

私は病院行きや、その他いろいろ利用させていただいております。バス停迄は坂があり、高齢の私は30分程かかります。帰りは発車後ですと2時間待ちなど、暑さ寒さの時は辛く、もう少し本数があったらと思います。広報などに載っている市民会館や文化会館の良き催しやお話や音楽会に行きたくても、なかなか叶いません。

皆さんの次のような声をお聞きします。バス昇降時の際、ステップがもう少し低いか三段式にしていたらとか、最終の時間をもう少し延ばして欲しいとか。代金の安いのには感謝しています。

先日の会合の時だけでは、詳しいことが分からないまま、とりとめのないことを申しました。

各方面の方々に深く感謝しつつ、きめ細かくお考えいただきますよう、お願い申し上げます。

水野フミ(上野町・85歳)

みんなの願い

- ★無料または低料金にしてほしい。
- ★もっとコースを増やしてほしい。
- ★1時間に1本は走らせてほしい。
- ★乗り継ぎを無料にしてほしい。
- ★市内のどこへでも行けるようにしてほしい。

あなたの声を 聞かせてください。



コミバスについて願っていること、自分にとって必要な理由、利用したい公共施設は何か、自分の利用方法など、あなたの声を届けてください。原稿は400字以内。「紙上匿名」でも結構ですが、原稿には本名と住所、電話番号を書いてください。写真のある方は送って下さい。可能な限り掲載いたします。

送り先は、このニュース1面、上の所です。